

2008年度（09年3月期） 業績予想の修正

2008年10月22日

日本電気株式会社

(<http://www.nec.co.jp/ir/ja>)

＜将来予想に関する注意＞

本資料には日本電気株式会社および連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが証券取引所や関東財務局長等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）ルールに準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。実際の結果に影響を与える要因には、(1) NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2) 市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4) NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5) NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6) 市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7) 為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、(8) NECに対する規制当局による措置や法的手続きによる影響等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または売出しを行うことはできません。

（注）

当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本会計基準」を採用しています。

年度表記について、2007年度は2008年3月期、2008年度は2009年3月期（以下同様）を表しています。

目次

1. 連結業績予想の修正
2. ネットワークシステムの状況について
3. ネットワークシステム以外の事業状況について

1. 連結業績予想の修正

1-1. 連結業績予想の修正

■ 09年3月期第2四半期連結累計期間

(単位:億円)

	前回発表予想 (A) ※	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期第2四半期実績 (08年3月期第2四半期)
売上高	21,500	21,280	△ 220	△ 1.0	21,406
営業利益	300	135	△ 165	△ 55.0	274
経常利益	120	70	△ 50	△ 41.7	98
当期純損益	△ 40	20	60	-	△ 47

■ 09年3月期通期

	前回発表予想 (A) ※	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績 (08年3月期)
売上高	48,000	46,000	△ 2,000	△ 4.2	46,172
営業利益	1,700	1,200	△ 500	△ 29.4	1,568
経常利益	1,350	950	△ 400	△ 29.6	1,122
当期純利益	350	150	△ 200	△ 57.1	227

※ 2008年7月31日発表

1-2. 連結業績予想の修正理由

【第2四半期連結累計期間】

- 売上高：2兆1,280億円（△220億円）
 - ▶ ネットワークシステム、モバイルターミナルの減少（社会インフラ増加）
- 営業利益：135億円（△165億円）
 - ▶ ネットワークシステム、モバイルターミナルの減少（IT関連は増加）

【通期】

- 売上高：4兆6,000億円（△2,000億円）
 - ▶ ネットワークシステム、モバイルターミナル、エレクトロニクデバイスの減少（IT関連は増加）
- 営業利益：1,200億円（△500億円）
 - ▶ ネットワークシステム、エレクトロニクデバイス、モバイルターミナルの減少（IT関連は増加）

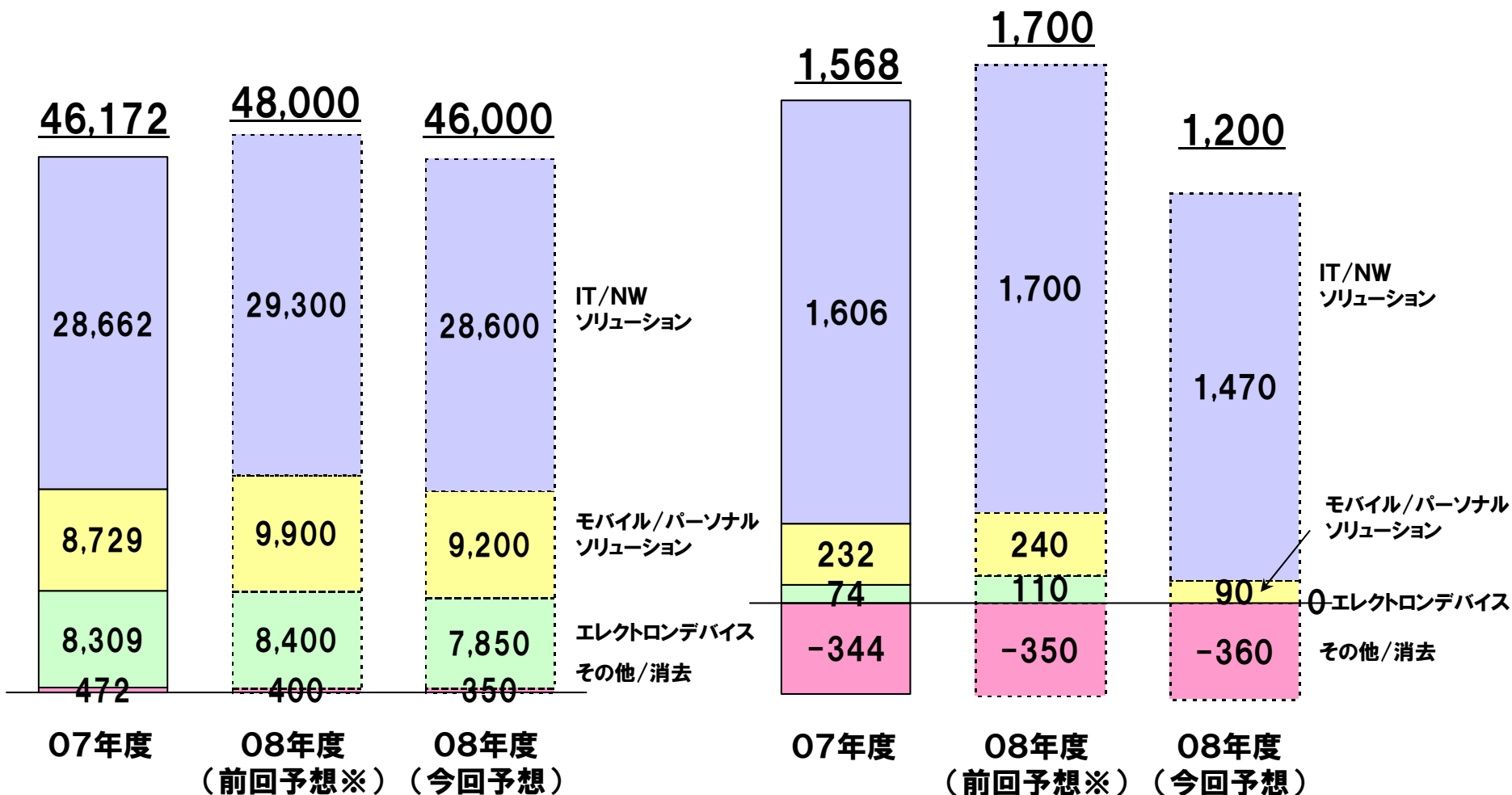
※ カッコ内の数値は、前回発表（2008年7月31日）予想との増減

1-3. セグメント別 通期業績予想

(億円)

売上高

営業損益



※ 2008年7月31日発表

1-4. 通期 売上高増減（前回発表予想比）

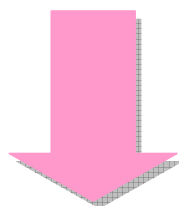
（億円）

前回予想 ※
48,000



IT/NWソリューション

△700（うち第2四半期累計期間△40）

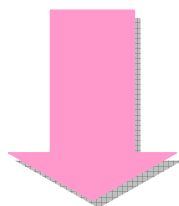


ネットワークシステム 約△900（同約△100）
IT関連事業 約+200

* 第2四半期累計期間でのプラスは社会インフラ

モバイル/パーソナルソリューション

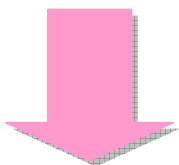
△700（同△90）



モバイルターミナル 約△550（同約△90）

エレクトロニクスデバイス

△550（同△30）



その他

△50（同△60）

今回予想
46,000



※ 2008年7月31日発表

1-5. 通期 営業利益増減（前回発表予想比）

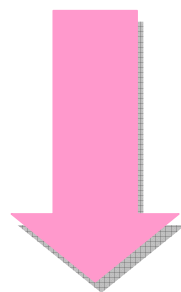
（億円）

前回予想 ※
1,700



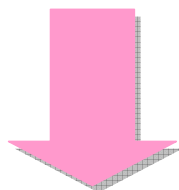
IT/NWソリューション
△230（うち第2四半期累計期間△75）

ネットワークシステム 約△300（同約△100）
IT関連事業 +100弱（同+ 50弱）



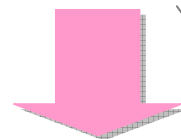
モバイル/パーソナルソリューション
△150（同△70）

モバイルターミナル △100弱（同約△60）



エレクトロニクスデバイス
△110（同△15）

NECエレ △90



今回予想
1,200

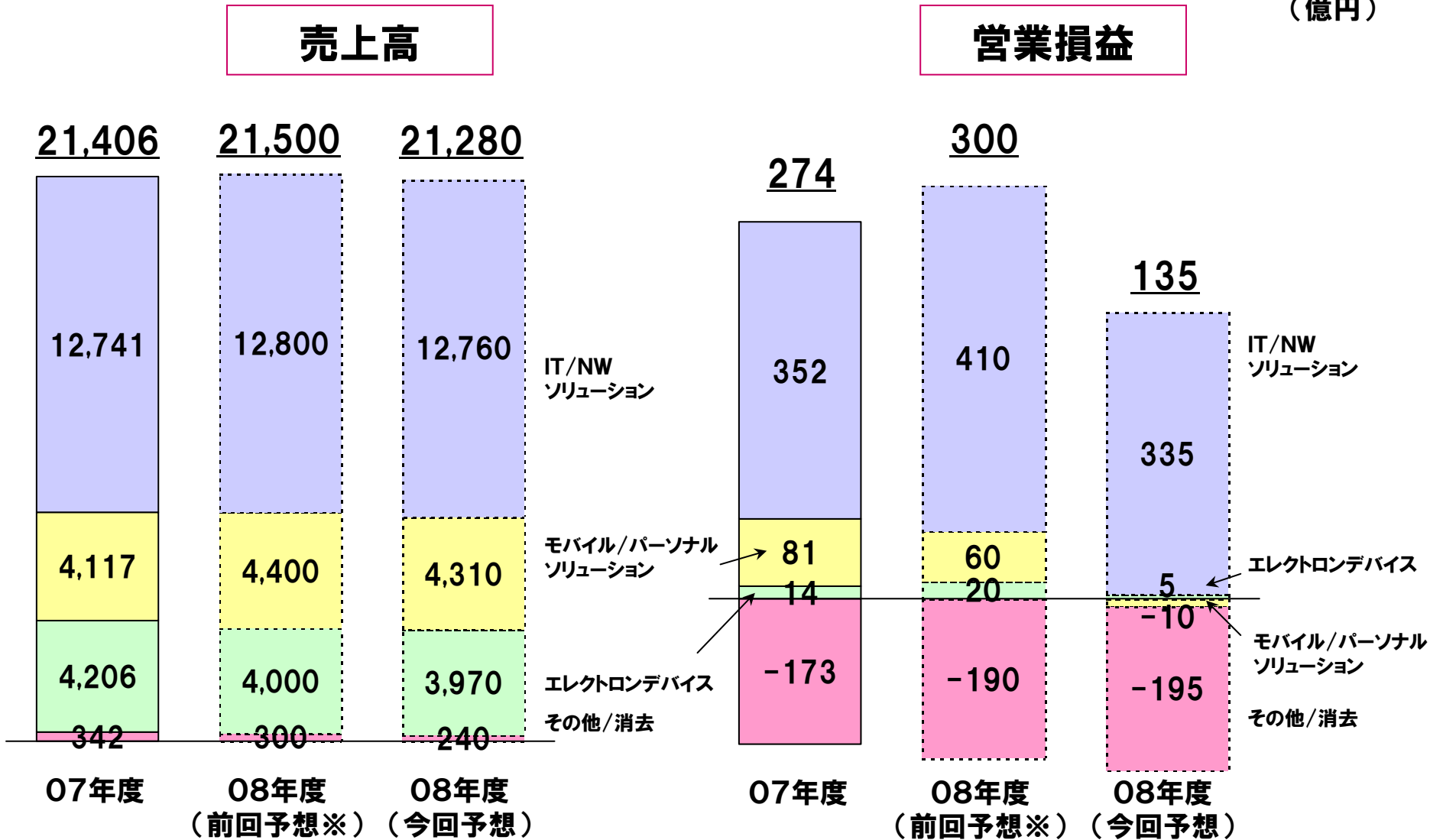
その他
△10



※ 2008年7月31日発表

(参考) 第2四半期累計期間 セグメント別予想

(億円)



※ 2008年7月31日発表

2. ネットワークシステムの状況について

2-1. 第2四半期累計期間の状況

【 前回予想（※）との比較 】 ⇒ 営業利益を下方修正

状況		プラス要因	マイナス要因
○	国内固定	NGN関連事業は、サービスエリア拡大に伴って好調に売上を拡大	
×	国内移動		モバイルキャリアの設備投資抑制、事業性の厳しいプロジェクトの選別受注
△	海外固定	海底ケーブルはトラフィック増に伴い需要が堅調	北米向け光事業の売上減
△	海外移動		海外新規事業立ち上がり遅れ 1Qパソリンクの売上減

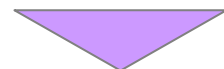
△ WiMAX、LTEなど次期通信システム開発の先行投資増

※ 2008年7月31日発表

2-2. 下期の見通し

【市場環境】下期も同様の傾向を見込む

- ・ 当社想定を超える国内モバイルキャリアの設備投資抑制
- ・ 国内NGN構築は順調に進展
- ・ 前年度比円高の進行による影響の継続



当社の状況：主に国内移動減の影響により前回予想比（※）で売上減

- × 国内モバイルキャリア向け売上減
- × 海外新規事業（移動・固定）の立ち上がり遅れ
- 国内NGN構築の順調な拡大



※ 2008年7月31日発表

2-3. 事業強化に向けたポイント

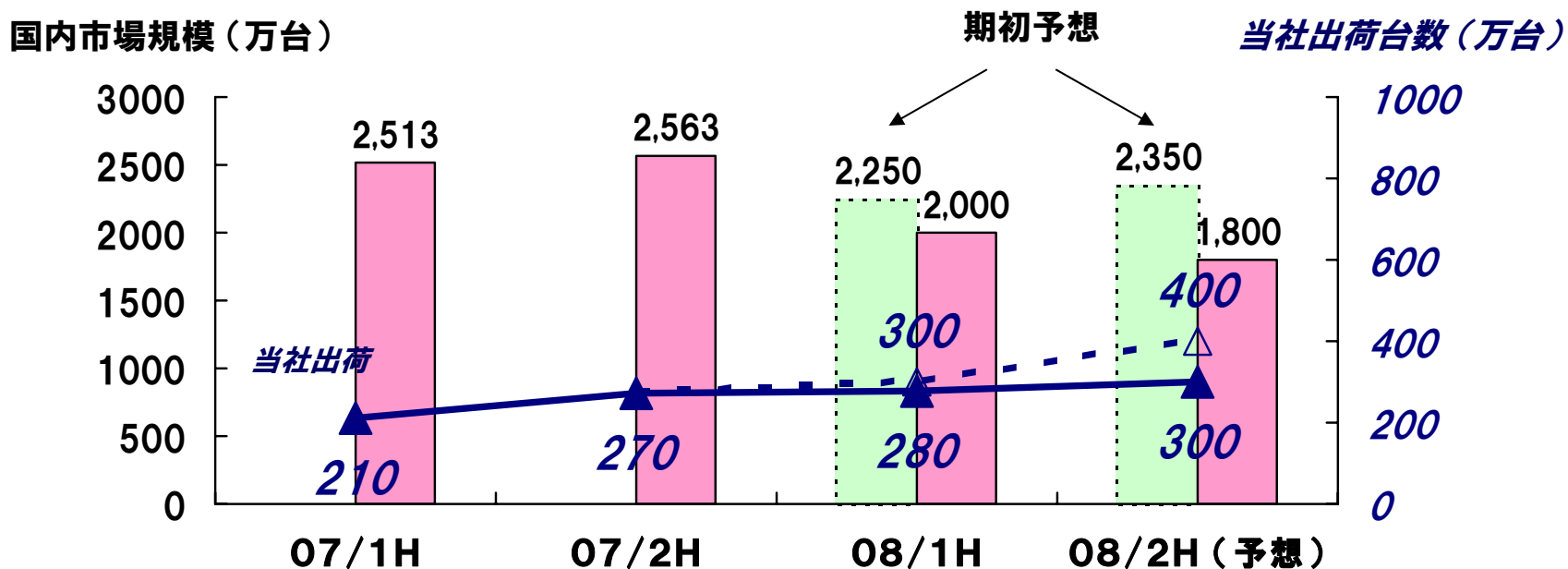
売上 拡大	NGN	国内での着実な積み上げとグローバル展開の加速
	パソリンク	<ul style="list-style-type: none"> • IP化対応「PASOLINK NEO iP（アイピー）」 • 海外の新たな拠点立上げ • 周辺機器とのセット販売
	海底ケーブル	OCC買収による事業基盤の強化
	海外新規事業	<ul style="list-style-type: none"> • WiMAX – 台湾、タイ • MBH – インドネシア等 ⇒ 上期成果をベースに新規案件の立上げ加速
	ネットワークソフトウェア	ネットクラッカー買収による事業強化
収益性 向上	新製品（NGN含む）の一層のコストダウン	
	製品開発の選択と集中による効率化推進、SGA費用削減	

MBH：モバイルバックホール

3. ネットワークシステム以外の 事業状況について

① モバイルターミナルの状況（1/2）

- **市場環境**： 割賦制度による買替えサイクル長期化等の影響で期初想定を上回り端末販売市場が縮小（3,800万台、前年度比▲2割超）
- **当社の状況**： 市場低迷で出荷計画は下方修正（上期 280万台、下期 300万台）
但し、強い弾出しの継続により着実に出荷台数を伸張し、シェアを拡大

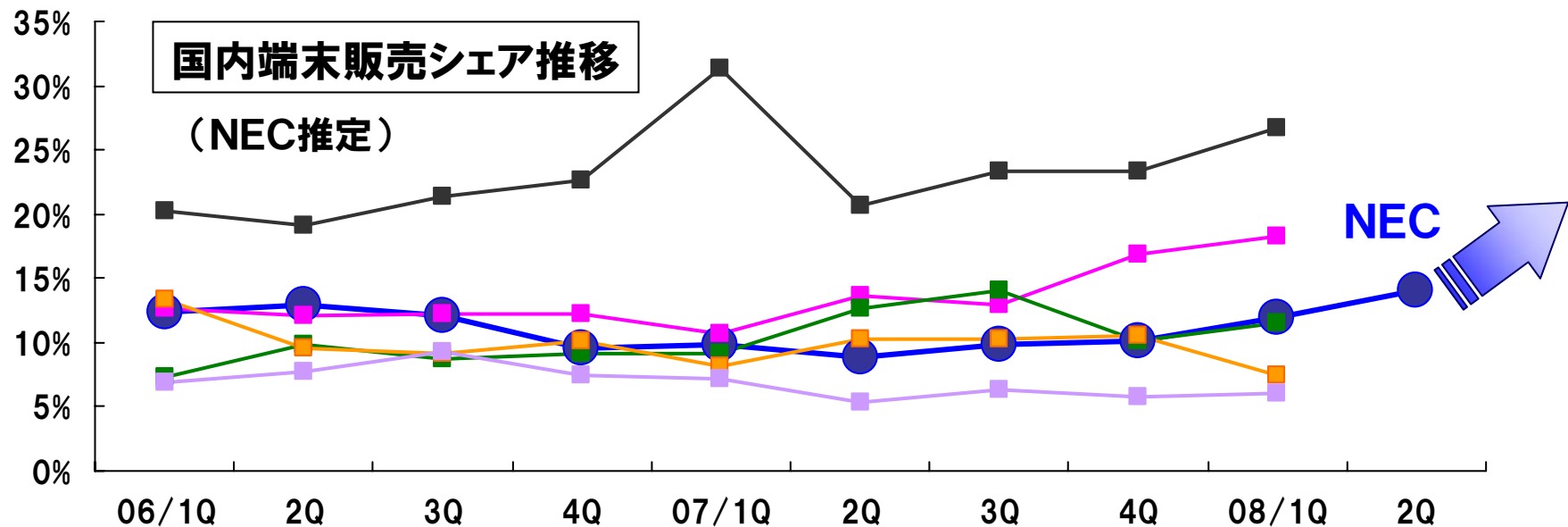


*07年度市場規模はMM総研データ、08年度は当社予想、予想値は08年10月22日現在

① モバイルターミナルの状況（2/2）

● 下期に向けて：

- ▶ 上期は出荷未達の影響により利益下方修正も、下期は機種共通開発の前倒し推進など費用効率化のさらなる加速・強化により、黒字を確保
- ▶ シェアのさらなる向上と開発力強化などにより、安定的収益基盤の確立を目指す



② IT関連分野の状況

● 市場環境：

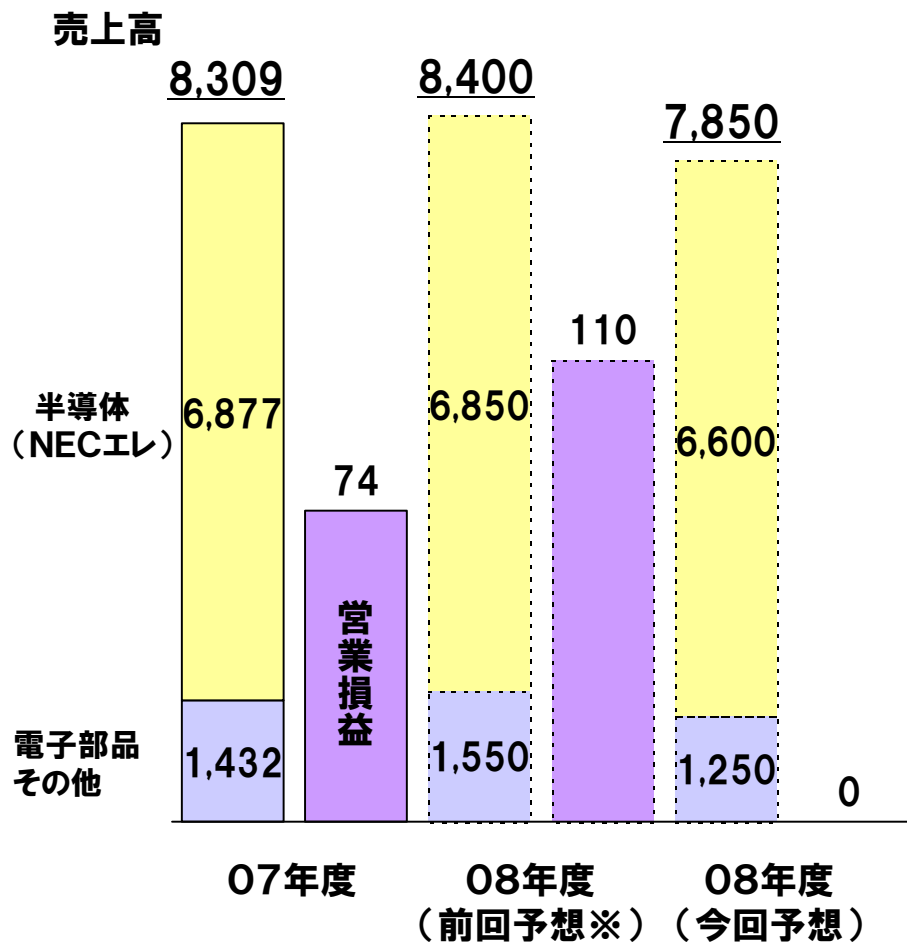
- ▶ 金融業を中心に不透明感が拡大、IT投資も抑制が懸念される
- ▶ セキュリティ、コンプライアンス、経営効率化等への投資は底堅い

● 当社の状況：

- ▶ 金融以外はほぼ全般に好調（官公庁、製造、流通等）
- ▶ 当社得意領域の確実な積上げに加え、
新規ソリューション提供、他社リプレース等により、
売上、損益ともに計画を上回る見通し
- ▶ SI革新による収益改善・リスク低減施策も着実に遂行

③ エレクトロニクス事業の状況

(億円)



● NECエレクトロニクスの状況

(2008年10月21日業績予想修正発表)

▶ 半導体市況の悪化に伴う

売上高の大幅な減少

- 自動車向け半導体
- 汎用マイコン
- ディスクリート

(億円)	07年度 年間	08年度 前回予想※	08年度 今回予想
半導体営業利益 (NECエレクトロニクス)	51	100	10

※ 2008年7月31日発表

Empowered by Innovation

NEC